

吉川市議会議員

安田真也

活動レポート

市議会議員 安田真也事務所

〒342-0038 吉川市美南4-25-43

TEL:048-945-0946 E-mail:shinya-yasuda@hotmail.co.jp



討議資料

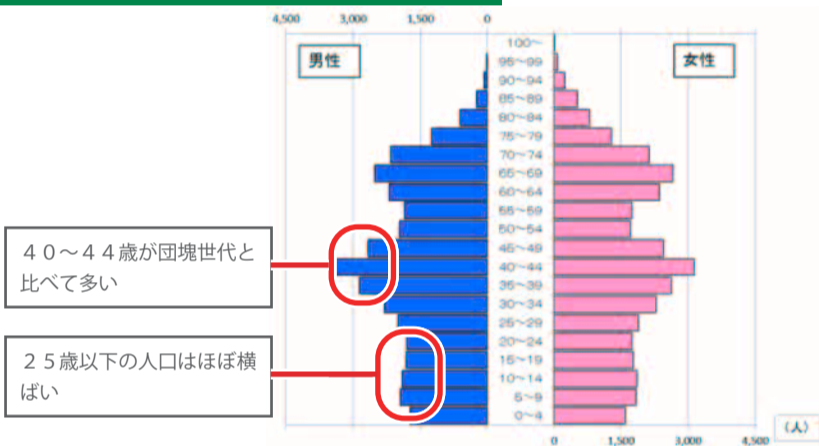
今回の活動レポートは、「地方版総合戦略」に関連して、吉川市の人口問題に目を向けてみたいと思います。吉川市は若年人口が社会増により増えており、特に若年女性の人口増が見込まれる全国でも珍しい自治体でもあります。

しかし、市内全体を見回すと高齢化が進んだ地域、子供がいない地域など地域によって様々な問題があります。その一つ一つに目を向け、まずは現状分析、そして全体の方向性を導き出す必要があるのではないのでしょうか。

吉川市議会議員 安田 真也

地方創生特別委員会資料より読み解く

年齢別人口 45歳以下が他の自治体より多い



吉川市の特徴は40歳～44歳の層が多いことです。また、若年層が国・県と比較しても多いことが特徴です。

人口の推移 開発地区の工期と連動



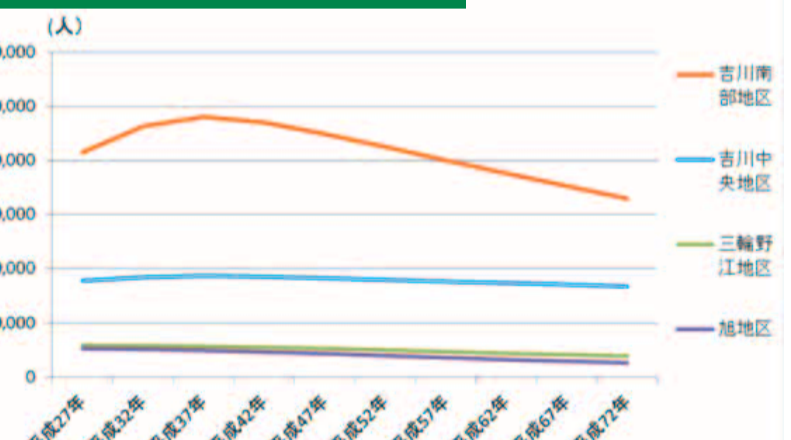
昭和45年から50年にかけて急激に人口が増えました。そこから複数の開発事業があり、人口が伸び続けます。

地区別人口 開発のない地区では減少に転じる



開発行為がない三輪野江地区・旭地区は人口が減少していますが、緩やかな減り方です。南部の人口が中央を抜いています。

地区別人口 [予測] 現状の出生率(1.34)の場合



人口が増え続ける南部地区ですが、平成37年がピーク。現状の出生率の場合、平成37年から南部地区の人口が急激に減り始める。

人口分析 [参考] 吉川美南プロジェクト自治会

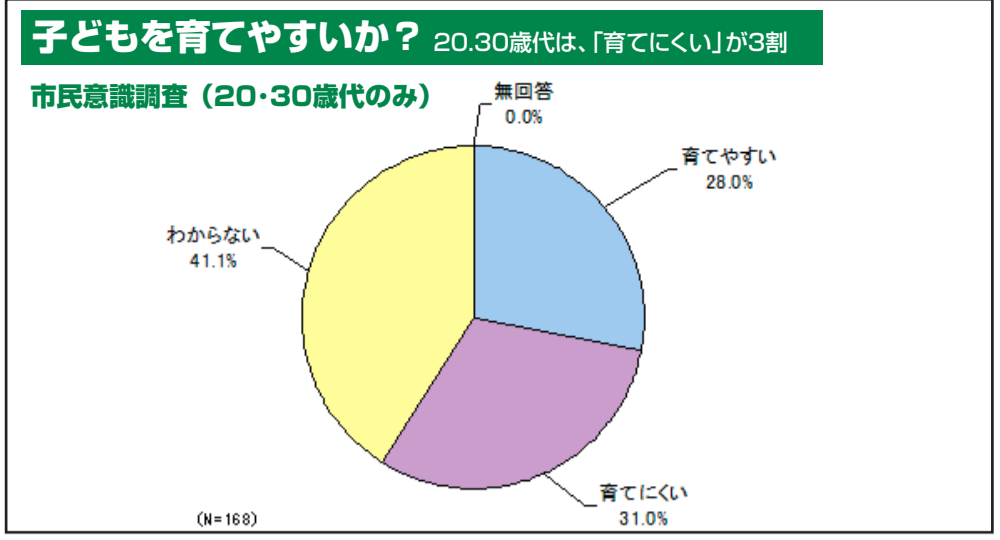
| 市内からの転居(出生者) | 県内からの転居 | 都内からの転居 | 千葉からの転居 | その他 |
|---|---|---|--|---------------|
| 318人 19.2% | 693人 41.8% | 240人 14.5% | 228人 13.8% | 180人 10.9% |
| 主な移動元 | 主な移動元 | 主な移動元 | 主な移動元 | |
| 美南 84人 木売 52人 高富 24人 保 24人 栄町 19人 | 三郷市 248人 さいたま市 101人 越谷市 94人 川口市 49人 草加市 31人 | 足立区 42人 北区 21人 葛飾区 20人 江戸川区 16人 江東区 15人 | 松戸市 44人 柏市 33人 流山市 30人 市川市 29人 千葉市 17人 | |

人口が増加している美南ですが、やはり市外からの転居者が多いことがわかります。

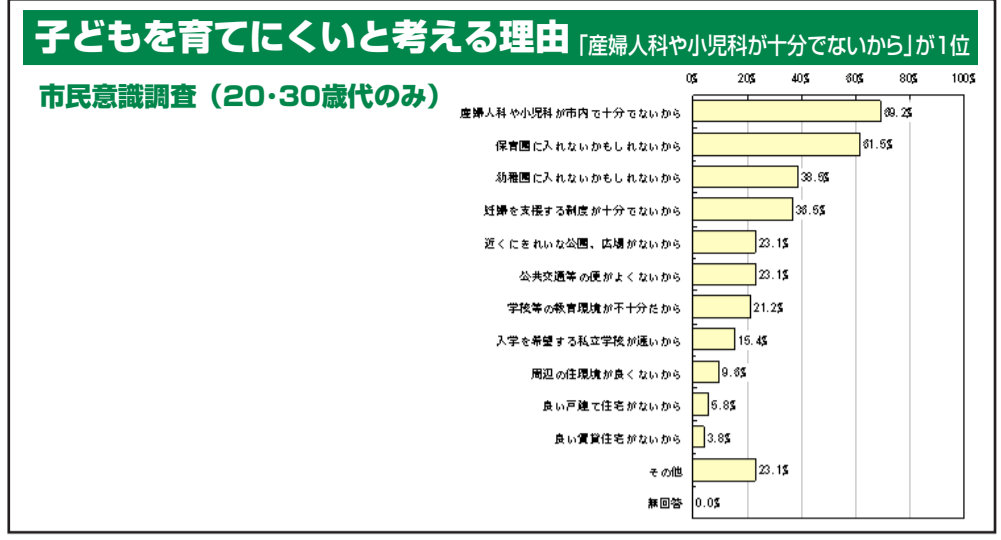
公示地価 周辺と比較するとやや安い

| 場所 | 公示地価 | 地勢 |
|-----------------|---------|------------|
| 吉川市きよみ野3丁目 | 98,000 | 吉川、2,800m |
| 吉川市平沼1丁目 | 127,000 | 吉川、850m |
| 越谷市北越谷1丁目 | 143,000 | 北越谷、600m |
| 越谷市南越谷5丁目 | 192,000 | 新越谷、600m |
| 越谷市千間台東2丁目 | 131,200 | せんげん台、750m |
| 草加市旭町3丁目 | 150,000 | 新田、350m |
| 草加市氷川町 | 201,000 | 草加、500m |
| 三郷市谷口字根通 | 144,000 | 三郷中央、650m |
| 三郷市三郷1丁目 | 149,000 | 三郷、500m |
| 八潮市八潮4丁目 | 153,000 | 八潮、900m |
| 八潮市八潮2丁目 | 141,000 | 八潮、1,400m |
| 北葛飾郡松伏町大字松伏字内前野 | 66,200 | 北越谷、4,600m |
| 北葛飾郡松伏町中3丁目 | 66,600 | 北越谷、3,800m |

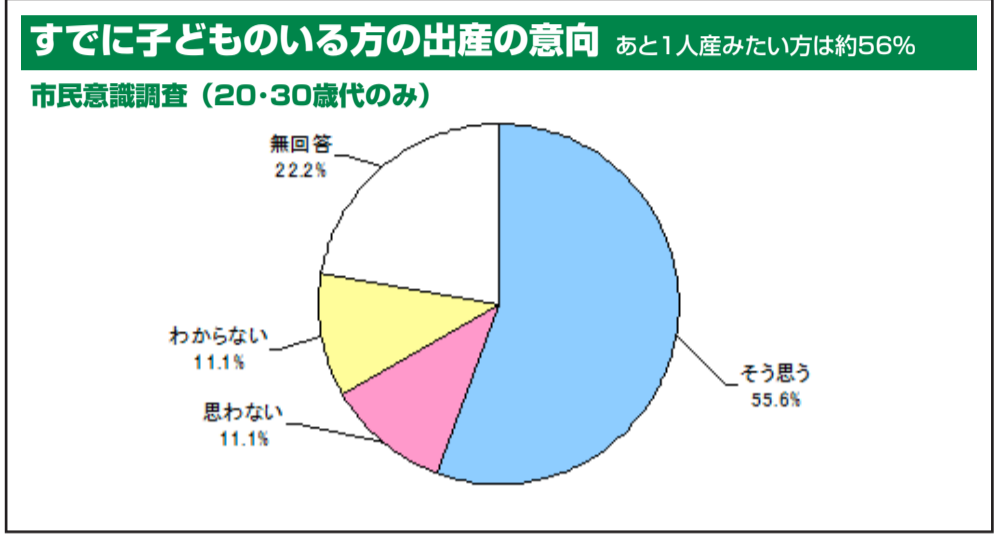
吉川市は近隣と比較して地価が安いことから、若年層が宅地を購入しやすいのではと考えられます。



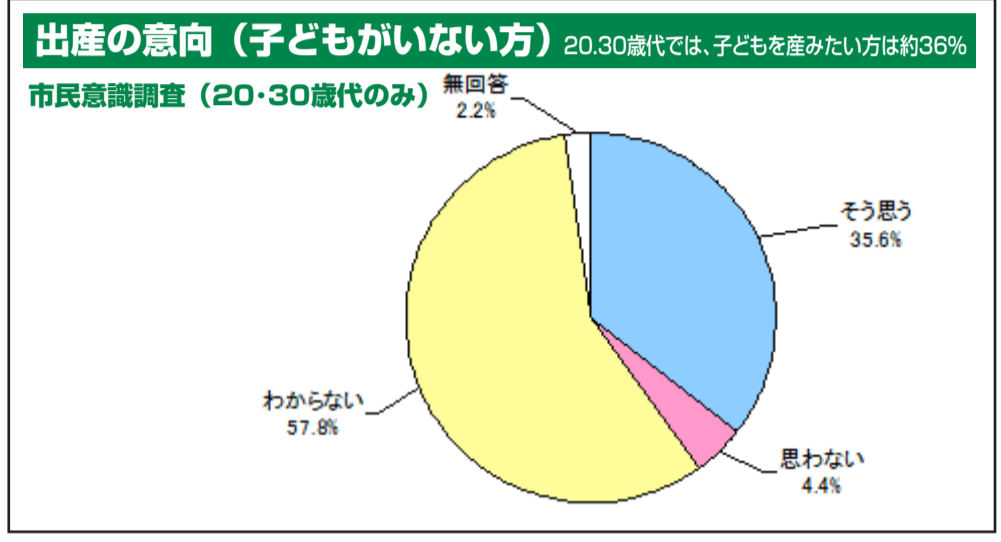
育てやすいが28%、育てにくい31%、わからないが41%。全体として子育てに関する情報発信が不足していると考えられます。



子どもに関する医療機関の少なさや、保育所・幼稚園などの不安が「育てにくい」と感じる上位になっています。



すでに子どものいる方はさらに子どもを希望されている方が多いです。



「わからない」と回答した方が6割近くいますが、3割は出産の希望があるようです。

安田真也の分析

- ・ 現在の人口増加は若年層の市外からの流入によって保っている。
- ・ 若年層流入がなくなる、開発行為が止まってしまうと人口が減少局面に入る。
- ・ 局地的な開発行為も必要だが、市全体を見た開発も今後必要である。
- ・ 若年層流入のために、もっと魅力的な「子育て政策」を打つ必要がある。
- ・ 高齢人口が今後増えることから、予防医療・介護予防等の予防に力を入れる。
- ・ 医療機関の充実、医療体制の充実は各世代層に必要な施策である。

50年先、100年先を見越した政策を今から打つ必要があります。今後、吉川市総合戦略が策定されますが、この点を重点視してまいります。

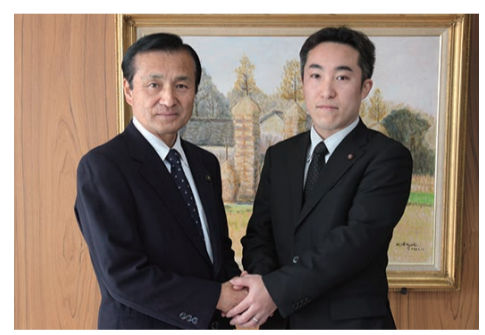
市民アンケートによると吉川市への愛着度は愛着ある・どちらかといえば愛着があるを合わせて78.3%になります。もっともっと市民の皆様へ愛される吉川市を目指し、また、将来・未来へ繋げられる吉川を皆様と作り上げていきたいと思っております。



三ツ林裕巳厚生労働大臣政務官と



松澤正県議会議員と



戸張胤茂 前吉川市長と



野田聖子自民党前総務会長と



安田真也プロフィール ～共働き・子育て世代～

- ・ 昭和54年（1979年）岩手県花巻市生まれ
- ・ 岩手県立花巻北高等学校／獨協大学法学部
- ・ 在学中、松原学院（現：総合学習塾マインズ）で時間講師
- ・ 政治分野では、参議院議員 田村秀昭（元空将）事務所スタッフ
- ・ 衆議院議員 武山百合子 秘書
- ・ さいたまコープ（現：コープみらい）勤務
- ・ 「食の安心安全」について学ばせていただきました。
- ・ 大手人材派遣会社（京都支店長、関西営業課主任）勤務
- ・ 縁のある方にお誘いを受け、京都から吉川へ

家族：妻、子（0歳児）、柴犬
 特技：「広島風お好み焼き」はプロ並みの腕前
 オタフクソース株式会社お好み焼研修センター修了

- ・ 平成20年 吉川市議会議員選挙に初当選（当時28歳）
 - ・ 平成22年 山田宏杉並区長、中田宏横浜市長とともに「日本創新党」結党
 - ・ 平成24年 吉川市議会議員選挙に当選（2期目）
 - ・ 市議会会派「自民・みらい」結成
 - ・ 「日本創新党」解党にともない「自民党」へ
- 現在の公職
- ・ 市議会総務水道常任委員会 委員長
 - ・ 市議会地方創生特別委員会 委員長
 - ・ 江戸川水防事務組合議会 議長
 - ・ 東埼玉資源環境組合議会 議員
- その他
- ・ 吉川市自衛隊父兄会 理事



子育て奮闘中!!

安田真也の活動や政策はコチラ

